

開講学科	建築学専攻	実務家科目				前橋工科大学 シラバス
		-				
科目名	建築設計演習 A	標準対象年次	選択/必修	科目コード		
		1,2年次	選択	33002101		
担当教員	駒田 剛司	単位数	学期	曜日	時限	
		2単位	前期	木曜日	4時限	
授業の教育目的・目標	設計者の意図を正確に表現し、建築設計の実務につなげるための能力だけでなく、建築の社会性を論点とした議論を通じて、建築と社会の関係を広く見通す視野を養うことを目標とする。					
学科の学修・教育目標との関係	社会と建築に関わる具体的なテーマを提示することにより、意匠設計者としての能力の開発を目指し、新しい建築意匠とその社会性を提示し得る人材を養成する。					
キーワード	空間構成要素、環境問題、先端技術、素材、地域産業、コミュニティー、行政、まちづくり					
授業の概要	地域社会における産業構造の過去、現在、未来の姿から、いま求められる建築とその役割について考える。市場経済のグローバル化が急速に拡大する一方、地域に根ざした経済活動が、ローカリティーの維持と更新に欠かすことの出来ない要素としてその意義をましている。実地のリサーチを通した様々な気づきをベースに、地域の新たな産業としての「仕組」と「場」の形を具体的に構想する。					
授業の計画	第1回： ガイダンス及び第一課題（地域産業リサーチ）説明 第2回： 各グループによるリサーチ対象発表報告 第3回： 各グループによるリサーチ結果第一発表報告 第4回： 各グループによるリサーチ結果第二発表報告 第5回： 各グループによるリサーチ結果三発表報告 第6回： 各グループによるリサーチプレゼンテーション/講評第二課題（これからの地域産業のための仕組み）説明 第7回： 受講生各自による第二課題 中間発表 第8回： 受講生各自による第二課題 プレゼンテーション/講評 第三課題（これからの地域産業のための場）説明 第9回： エスキース・スタディ 第10回： エスキース・スタディ 第11回： エスキース・スタディ 第12回： エスキース・スタディ 中間発表 第13回： エスキース・スタディ 第14回： エスキース・スタディ 第15回： 第三課題 プレゼンテーション/講評および授業総括					
受講条件・関連科目	学部での卒業設計の履修。 建築計画、構造計画について理解していること。					
授業方法	自主研究、リサーチ、エスキース・スタディ、プレゼンテーション					
テキスト・参考書	その都度、配布する。 「Vectarworks（ベクターワークス）」を活用する。					
成績評価	・期末試験（％） ・レポート（30％） ・小テスト（％） ・その他（演習課題）（70％）					
履修上の注意	本授業を通し、学んだことを公開コンペなどへ参加することにより、客観的に自らを評価すること。 自らのポートフォリオに載せることのできる質の高さをもった作品とすること。					